

生徒がまるで仕事のできる社会人のようでした！

6月3日(金)、池間彦律先生が授業を公開しました(3年1組)。本時は、生徒をコンビニのエリアマネージャーに見立てて、「**町内店舗の売上や売れている品物を、表やグラフを作って報告してほしい**」という社長のミッションを、Excelを使ってクリアすることを目指しています。

実生活に生かされるリアルな問題を解決するべく、生徒は社長に伝わりやすいグラフを作成するために、**数値や色を変えたり、棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフを選択**したりするなど(図1・図2)、あーでもない、こーでもないと試行錯誤して問題解決する姿が見られ、生徒がまるで仕事のできる社会人のようでした。

生徒インタビュー！本時の授業で学んだことは？
(Aさん)比較は棒グラフ、割合は円グラフ、時系列は折れ線グラフなど、相手にとってわかりやすいグラフを、Excelで作成できた。家でも練習してみたい！

本時の授業を、技術科の目標に照らし合わせてみると、「**社会におけるソフトウェアの見方・考え方を働かせ、Excelの関数やグラフを適切に選択する活動を通して、問題を読み取って必要な表計算処理ができる**」なのかな～と、ドゥーチムニー(自問自答)していました。

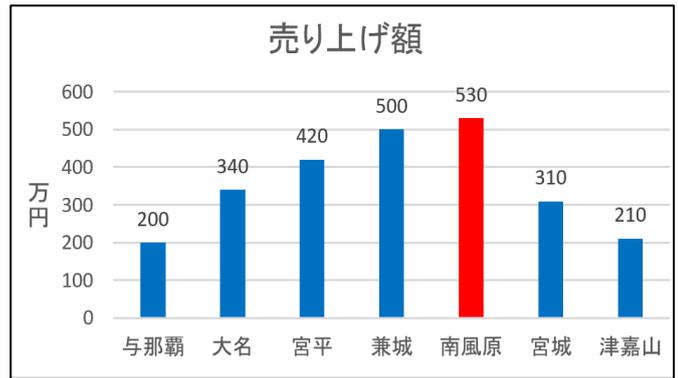


図1 Rさんの作品(売上1位を赤色にする工夫)

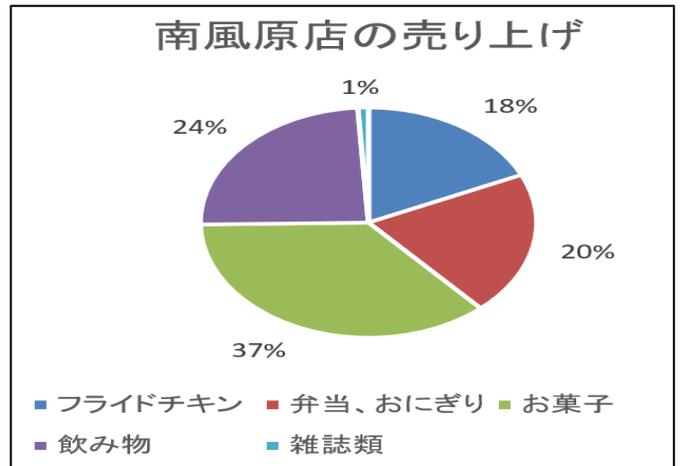


図2 Aさんの作品(%を挿入する工夫)

学習指導要領では、すべての教科で、教科の目標の書き方が統一されています。

「**〇〇な見方・考え方を働かせ、〇〇の活動を通して、〇〇する資質・能力の育成を目指す**」
今一度、ご自分の教科の目標を確認し、授業づくりでは、本時における「**見方・考え方**」、「**見合った活動**」、「**育みたい資質・能力**」を明確にすることで、授業や生徒の学びが、より充実していくかもしれません。

【技術科の目標】(学習指導要領解説技術編 P.16)

技術の**見方・考え方を働かせ**、技術に関する実践的・体験的な**活動を通して**、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する**資質・能力を育成する**ことを目指す。



図3 Excelを使って相手に伝わりやすいプレゼン資料を作成する様子 ★校長先生もチャレンジ